

平成 28 年度 租税教育実践例（第 6 学年社会科）

登米市立北方小学校
教諭 佐藤 純

- 1 単元名 わたしたちの生活と政治
小単元名 震災復興の願いを実現する政治

2 単元について

本単元は、学習指導要領の目標「1（2）日常生活における政治の働きと我が国の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする」の内容を扱う。

この単元での主な学習内容は、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを具体的に考えるようにすることである。

単元の構成は大きく三つに分かれており、始めに国民（市民）の願いを実現するための政治の仕組みについて学習し、次に国の政治の働きについて、最後に日本国憲法の基本的な考え方について学んでいく。この学習の中で、震災復興の願いを実現するために税金が果たす大きな役割について知るとともに、税の種類についても学んでいく。

3 児童の実態（在籍 36 名）

本単元を指導するにあたり、簡単な実態調査を行った。その結果、児童全員が「税金」という言葉を聞いたことがあった。また、「知っている税は何か」を尋ねると、「消費税」と答えた児童が最も多かった。さらに、「税金は何に使われているか」を尋ねたところ、ほとんどの児童が「分からない」と答えたが、一部の児童は「学校に関することに使われていると聞いたことがある」「道路を整備するために使われている」と答えた。「税金は必要か」という問いに対して、「必要である」と答えた児童はおよそ半数となり、あとの半数は「必要ない」と答えた。

「税金」という言葉の認知度は高いが、その意味や仕組み、使途については知らない児童が多く、税金が果たす役割について具体的に考えさせていく必要があると考える。

4 指導の着眼

以上のような実態を踏まえて、次のような点に留意して指導にあたりたい。

- ① これまでに学習した「租・調・庸」、「年貢」、「地租」などの語句をおさえさせる。
- ② 国民の義務として、納税の義務があることを学び、その必要性についておさえさせる。
- ③ 税務署の職員をゲストティーチャーとして招き、税金の意味や仕組み、使途について理解させる。

5 単元の目標

- ・ 地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解するとともに、我が国の政治の働きと国民生活との関わりを考えようとする。

6 指導計画 (8時間扱い 本時4/8)


時	学習内容	指導上の留意点
1	○東日本大震災の発生 ・東日本大震災発生後の復旧の様子に関心を持ち、学習問題をつくる。	・震災に関する学習に抵抗がある児童がいないか、事前に確認する。写真資料をもとに、被災者の気持ちに気付かせる。
2	○東日本大震災への緊急対応 ・東日本大震災発生直後の、市や県、国の取り組みについて資料から読み取り、相互に協力し合っていることについて考える。	・震災の発生から市や県、国が対応するまでの時間が非常に短かったことや派遣された人員の多さから、国全体が協力する体制を整えていることをとらえさせる。
3	○災害復旧に向けた国の支援 ・災害復旧の取り組みは、国の政治の働きによるものであることを理解する。	・震災発生から短期間で予算や法律が決まったことや、県や市町村と国が連携して取り組んでいることが、図や年表と結びつけて考えられるようにする。
4 本時	○税金の働きを調べる ・災害復旧のための補正予算の費用が税金から出ていることを知り、税金の大切さについて考える。	・税金がどのような用途に使われているのかを知るとともに、税金の必要性について考えさせる。
5	○復興を願う市や市民の取り組み ・復興に向けての気仙沼市の計画や取り組みについて、関心をもって調べる。	・気仙沼市の被害の状況から震災前の生活に戻るために何が必要か気付かせる。
6	○さまざまな支援と絆 ・復興に向けたさまざまな取り組みのなかで、多くの支援があったことを理解する。	・被災地を励まそうと多くのスポーツ選手や芸能人が被災地を訪れ、イベントを行ったことを紹介する。
7	○学習問題のまとめ新聞 ・学習問題について調べてきたことを、項目ごとに整理して新聞に貼り、社説に自分の考えを書いて完成させる。	・これまで学習してきたことをノートをもとに振り返らせ、それらを参考にして考えられるよう支援する。
8	○町づくりにわたしたちの声をいかそう ・公園に対するいろいろな立場の人の願いを考え、それらの意見を尊重しながらどのような公園をつくったらよいか話し合い、自分の意見をまとめる。	・知っている公園を思い起こして、好きなところやこうしたら良いという思いを聞き出す。いろいろな立場の人がいることや、それぞれの立場の人の願いを板書や図などで分かりやすく示して、地域の人々の思いに共感できるようにする。

7 本時の学習

(1) 指導について

題材名	税金の働きを調べる
本時の目標	税金の働きを知ることにより、税金の必要性や大切さを理解する。
評価規準	・税金の働きについて正しく理解している。 【知識・理解】 ・税金の必要性や大切さを理解している。 【知識・理解】

(2) 学習過程

段階	学 習 活 動 ・ 児童の反応	○ 指導上の留意点	準備物
つかむ 5分	1 本時の学習課題を知る。 <u>税金の働きを調べよう。</u> 2 ゲストティーチャーを紹介する。	○税金の働きや、税金が自分たちの生活とどのように関連しているかについて学ぶことを知らせる。 ○佐沼税務署の職員の方を紹介する。	
考える 35分	3 ゲストティーチャーの話を聞き、税金について考える。 (1) 知っている税金を挙げる。 ・消費税 ・所得税 ・ガソリン税 …など (2) 国税と地方税について知る。 (3) 税収の金額を知る。 ・57兆円ある。 (4) 1億円の量と重さを体感する。 ・とても重たい。 ・とても大きな金額だ。 (5) 税金が使われている施設を考える。 ・学校 ・市役所 ・公園 ・パトカー ・ファミレス ・ホームセンター ・消防署 …など (6) 鑑賞教材「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を鑑賞する。 ・税金って大切なんだ。 ・税金がないと困る。 ・いろんなところに税金が使われている。	○税金の種類（国税・地方税）があることをつかませる。  ○税金がない世界になるとどうなるかを知らせる。	大型TV 1億円のレプリカ DVD教材
まとめる 5分	4 学習したことをまとめる (1) 税金を払うべきか、払わなくてもよいかを確認する。 (2) 本時で学んだことをまとめる。 ・税金の大切さがわかった。	○本時を振り返らせることにより、税金の役割や大切さについてまとめる。	

8 実践を終えて

- ゲストティーチャーを招いての授業は、児童の興味・関心を高める要因となった。また、専門的な話を分かりやすく解説していただいたことで、税金に関するさまざまな知識に触れることができた。
- DVD教材は、もしも税金がなかった場合どうなるかが分かりやすく作られており、児童は真剣に見入っていた。また、税金の大切さを、実生活と結びつけて考えることができた。
- 震災復興にかかる多額の費用が税金で賄われているということが明確になり、税金の大切さについて考えることができた。
- 税金の大切さを知るとともに、自分たちも『税金』という形で国政に参画しようとする意識が高まったものと考えられる。